

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年9月24日(2015.9.24)

【公開番号】特開2015-145418(P2015-145418A)
 【公開日】平成27年8月13日(2015.8.13)
 【年通号数】公開・登録公報2015-051
 【出願番号】特願2015-94051(P2015-94051)
 【国際特許分類】

A 0 1 N 59/08 (2006.01)
 A 0 1 P 3/00 (2006.01)
 A 0 1 P 1/00 (2006.01)
 C 0 1 B 11/08 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 59/08 A
 A 0 1 P 3/00
 A 0 1 P 1/00
 C 0 1 B 11/08

【手続補正書】
 【提出日】平成27年7月9日(2015.7.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

亜塩素酸水溶液に、無機酸又は無機酸塩若しくは有機酸又は有機酸塩のうちのいずれか単体又は 2 種類以上の単体若しくはこれらを併用したものを加え、pH 値を 3.2 から 7.0 の範囲内に調整することを特徴とする、亜塩素酸を安定的に維持する水溶液の製造方法。

【請求項 2】

亜塩素酸水溶液に、無機酸又は無機酸塩のうちのいずれか単体、または 2 種類以上の単体若しくはこれらを併用したものを加え、pH 値を 3.2 から 7.0 までの範囲内に調整することを特徴とする、亜塩素酸を安定的に維持する水溶液の製造方法。

【請求項 3】

亜塩素酸水溶液に、無機酸又は無機酸塩のうちのいずれか単体又は 2 種類以上の単体若しくはこれらを併用したものを加えた後、無機酸又は無機酸塩若しくは有機酸又は有機酸塩のうちのいずれか単体又は 2 種類以上の単体若しくはこれらを併用したものを加え、pH 値を 3.2 から 7.0 の範囲内に調整することを特徴とする、亜塩素酸を安定的に維持する水溶液の製造方法。

【請求項 4】

前記無機酸は、炭酸、燐酸、ほう酸又は硫酸であることを特徴とする請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 5】

前記無機酸塩は、炭酸塩、水酸化塩、燐酸塩又はホウ酸塩であることを特徴とする請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 6】

前記炭酸塩は、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、炭酸水素ナトリウム又は炭酸水素カリウ

ムであることを特徴とする、請求項 5 に記載の製造方法。

【請求項 7】

前記水酸化塩は、水酸化ナトリウム又は水酸化カリウムであることを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の製造方法。

【請求項 8】

前記磷酸塩は、磷酸水素二ナトリウム、磷酸二水素ナトリウム、磷酸三ナトリウム、磷酸三カリウム、磷酸水素二カリウム又は磷酸二水素カリウムであることを特徴とする、請求項 5 から 7 までのいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 9】

前記ホウ酸塩は、ホウ酸ナトリウム又はホウ酸カリウムであることを特徴とする、請求項 5 から 8 までのいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 10】

前記有機酸は、コハク酸、クエン酸、リンゴ酸、酢酸又は乳酸であることを特徴とする、請求項 2 から 9 までのいずれか 1 項に記載の製造方法。

【請求項 11】

前記有機酸塩は、コハク酸ナトリウム、コハク酸カリウム、クエン酸ナトリウム、クエン酸カリウム、リンゴ酸ナトリウム、リンゴ酸カリウム、酢酸ナトリウム、酢酸カリウム、乳酸ナトリウム、乳酸カリウム又は乳酸カルシウムであることを特徴とする、請求項 2 から 10 までのいずれか 1 項に記載の製造方法。